

2015 年度 小委員会活動成果報告

（ 2016 年 2 月 4 日作成 ）

小委員会名	地震荷重外力小委員会	主 査 名：石井 透 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：緑川光正 主 査 名：高田毅士
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	目的： 2024 年頃に予定される荷重指針次期改定を視野に置き、地震に起因する荷重外力についての最新の学術的知見を分析し、東北地方太平洋沖地震以降の時代の社会の要請にも留意し、建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像について検討する。 初年度： 2014 年度版の荷重指針から今後約 10 年間を展望した諸課題の抽出 および「建築物荷重指針を活かす設計資料 1」の「地震荷重」の章の完成 2 年度： 建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像の議論（主に専門家を中心とした学術的議論） 3 年度： 建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像の議論（内外に開かれた議論） 4 年度： 建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像の提案	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無： 有	
	主査：石井 透（清水建設） 幹事：糸井達哉（東京大学）、松島信一（京都大学） 委員：境 茂樹（安藤・間）、高田毅士（東京大学）、田中浩平（鉄道総合技術研究所）、 田村良一（新潟工科大学）、恒川裕史（文部科学省）、中村博一（フォーラムエイト）、 福島誠一郎（リスク工学研究所）、森井雄史（清水建設）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2015 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：-

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 『建築物荷重指針を活かす設計資料 1』
講習会	1. 講習会「建築物荷重指針を活かす設計資料 1」 参加者数：東京 194 名、大阪 92 名
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 今後約 10 年間を展望した諸課題の抽出と活発な議論を進めた。 2. 「建築物荷重指針を活かす設計資料 1」の原稿を完成し講習会で講演した。
委員会活動の問題点・課題	1. 当初計画に従って 2 年目の活動を着実に推進すること。 2. 随時検討中であるが、可能であればもう少しメンバーを補いたい。